

社会保障審議会障害者部会	
第87回 (H29.11.22)	参考資料2

自立支援医療受給者の世帯状況等に関する アンケート調査結果

平成29年11月

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
精神・障害保健課

I. 調査の概要について

1. 調査の目的

自立支援医療制度が発足してから10年が経過したことを踏まえ、今後の自立支援医療制度の在り方を検討する上での基礎データを得ることを目的とする。

2. 調査の対象

各都道府県内の以下の①～③に該当する市区町村において、育成医療10人、更生医療10人、精神通院医療20人を調査対象とした。

- ①最も人口の多い都市
- ②人口が5万人以上15万人未満の市のうち最も人口の多い都市
- ③5万人未満の市町村のうち最も人口の多い都市

* 調査票配布数:5,640人 回答数:1,587人 回収率:28.1%

3. 調査の期間

原則として、平成28年10～11月に自立支援医療受給者証の交付を受けた者について、平成28年10月1日現在の状況により調査。

なお、対象者が上記の人数に満たないと見込まれる場合等にあつては、平成28年9月以前に受給者証を交付した者を対象とすることも可能とした。

4. 調査の項目

- ①自立支援医療を受給する障害者(児)ご本人、同居家族等について
障害者(児)の年齢、性別、手帳の有無、職業、世帯人数、住まい・生活上の悩み等
- ②家計の収支状況等について
世帯の収入、支出状況
- ③自立支援医療等について
受給者証の交付を受けた市区町村、受給する自立支援医療の種類及び障害種別、有効期間、自己負担上限月額、「重度かつ継続」該当の有無、医療機関への通院(入院)手段、医療費及び交通費以外の費用、制度をどこで知ったか、地方単独の医療費助成の受給の有無

5. 調査の方法

- ①厚生労働省から調査対象の市区町村(更生医療担当窓口)に対し、調査の協力依頼、アンケート調査用紙及び返信用封筒を郵送。
- ②更生医療の担当窓口がアンケート調査用紙及び返信用封筒について、育成医療及び精神通院医療の担当窓口へそれぞれ必要部数を転送。
- ③自立支援医療の各担当窓口において、平成28年10～11月の期間に受給者証を交付(新規・更新は問わない)するタイミング等を活用し、自立支援医療受給者に調査票と返信用封筒を配布。
- ④自立支援医療受給者が調査票を記入後、返信用封筒に入れて平成28年12月9日(金)までに厚生労働省あて郵送。
- ⑤厚生労働省において、調査結果をとりまとめ。

Ⅱ. 調査結果の概要について

※自立支援医療の種類が無回答の者及び無回答の項目は未集計とした。

1. 年齢階級別の受給者数

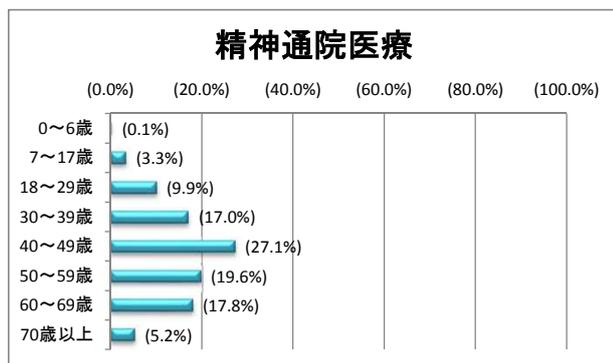
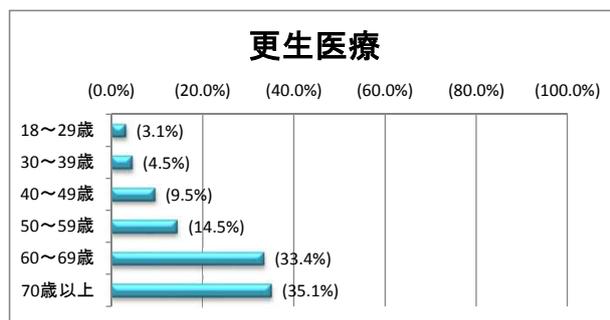
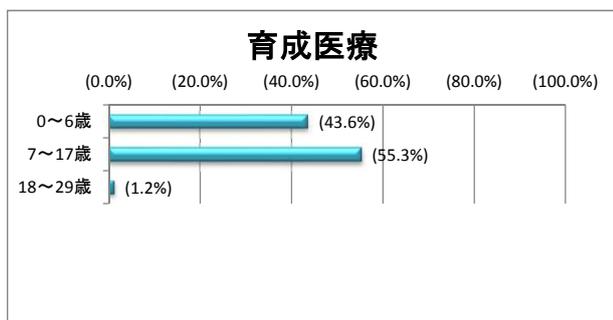
○更生医療は、60歳以上の受給者が68.5%を占めており、50歳以上の受給者では83%となっている。

○精神通院医療は、40～49歳が受給者が27.1%と最も多く、40歳以上の受給者では69.7%となっている。

【障害者(児)】

(単位:人)

年齢	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,475 (100.0%)	257 (100.0%)	422 (100.0%)	796 (100.0%)
0～6歳	113 (7.7%)	112 (43.6%)	—	1 (0.1%)
7～17歳	168 (11.4%)	142 (55.3%)	—	26 (3.3%)
18～29歳	95 (6.4%)	3 (1.2%)	13 (3.1%)	79 (9.9%)
30～39歳	154 (10.4%)	—	19 (4.5%)	135 (17.0%)
40～49歳	256 (17.4%)	—	40 (9.5%)	216 (27.1%)
50～59歳	217 (14.7%)	—	61 (14.5%)	156 (19.6%)
60～69歳	283 (19.2%)	—	141 (33.4%)	142 (17.8%)
70歳以上	189 (12.8%)	—	148 (35.1%)	41 (5.2%)

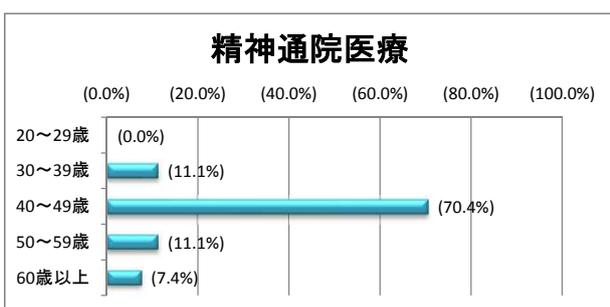
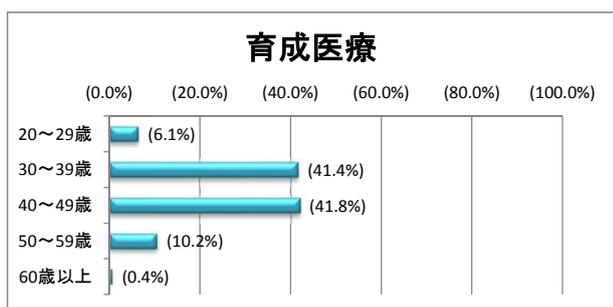


○育成医療は、30～49歳の保護者が83.2%を占めている。

【障害児の保護者】

(単位:人)

年齢	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	271 (100.0%)	244 (100.0%)	—	27 (100.0%)
20～29歳	15 (5.5%)	15 (6.1%)	—	0 (0.0%)
30～39歳	104 (38.4%)	101 (41.4%)	—	3 (11.1%)
40～49歳	121 (44.6%)	102 (41.8%)	—	19 (70.4%)
50～59歳	28 (10.3%)	25 (10.2%)	—	3 (11.1%)
60歳以上	3 (1.1%)	1 (0.4%)	—	2 (7.4%)

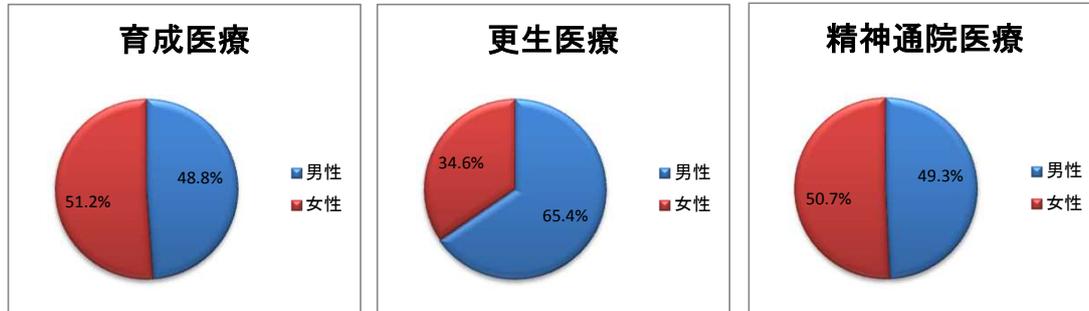


2. 性別毎の受給者数

○育成医療、精神通院医療は、男女比にほとんど差はないが、更生医療は、男性が65.4%と割合が高くなっている。

(単位:人)

性別	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,512	(100.0%)	260	(100.0%)	428	(100.0%)	824	(100.0%)
男性	813	(53.8%)	127	(48.8%)	280	(65.4%)	406	(49.3%)
女性	699	(46.2%)	133	(51.2%)	148	(34.6%)	418	(50.7%)



3. 障害者手帳の所持者数

○育成医療は身体障害者手帳の取得が要件ではないものの、身体障害者手帳の所持者が37人となっている。

○精神通院医療は、重複して身体に障害のある身体障害者手帳の所持者が61人となっている。

(単位:人)

手帳	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	934	44	421	469
身体障害者手帳				
総数	519	37	421	61
1級	371	18	341	12
2級	48	5	16	27
3~6級	100	14	64	22
療育手帳				
総数	41	6	0	35
A	8	1	0	7
B	32	5	0	27
C	1	0	0	1
精神障害者保健福祉手帳				
総数	374	1	0	373
1級	29	0	0	29
2級	259	0	0	259
3級	86	1	0	85

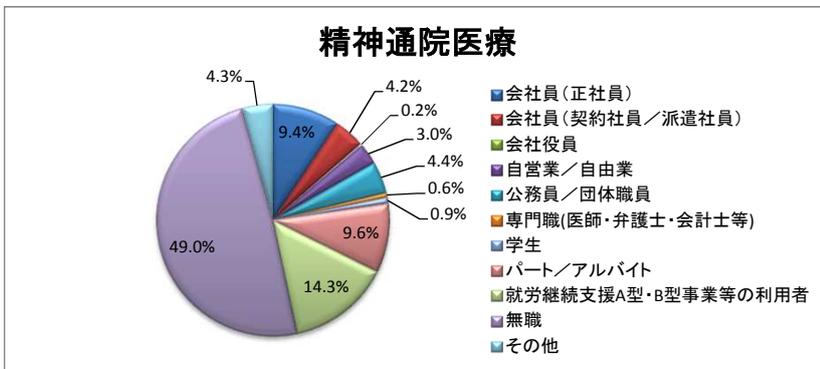
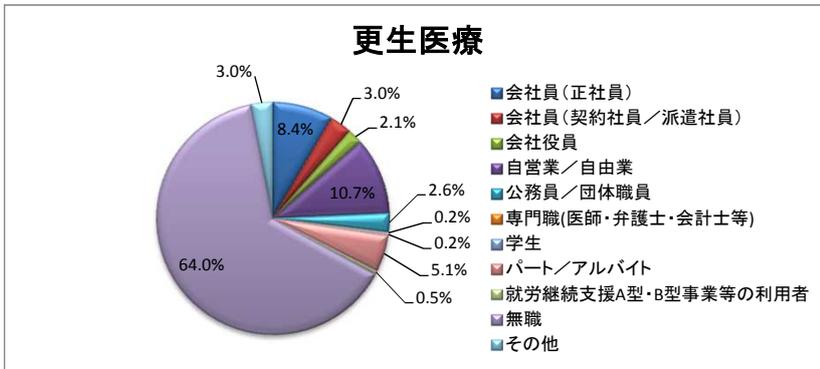
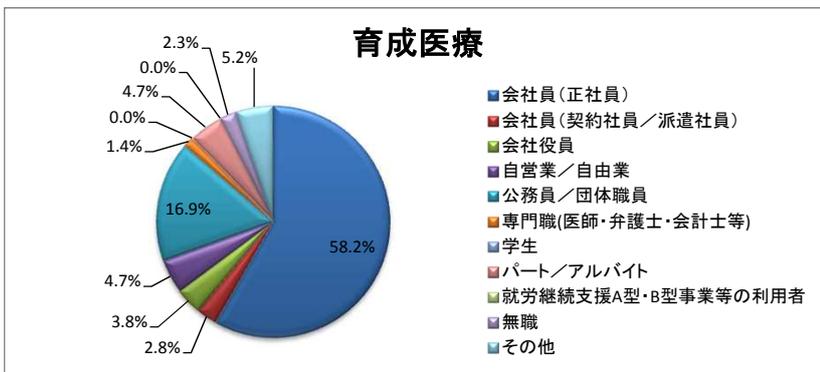
4. 職業別の受給者数

○育成医療は、「会社員(正社員)」、「公務員/団体職員」を合わせて75.1%となっている。
 ○更生医療、精神通院医療は、「無職」の受給者の割合がそれぞれ64%、49%と高い。

【障害者又は障害児の保護者】

(単位:人)

職業	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,451 (100.0%)	213 (100.0%)	428 (100.0%)	810 (100.0%)
会社員(正社員)	236 (16.3%)	124 (58.2%)	36 (8.4%)	76 (9.4%)
会社員(契約社員/派遣社員)	53 (3.7%)	6 (2.8%)	13 (3.0%)	34 (4.2%)
会社役員	19 (1.3%)	8 (3.8%)	9 (2.1%)	2 (0.2%)
自営業/自由業	80 (5.5%)	10 (4.7%)	46 (10.7%)	24 (3.0%)
公務員/団体職員	83 (5.7%)	36 (16.9%)	11 (2.6%)	36 (4.4%)
専門職(医師・弁護士・会計士等)	9 (0.6%)	3 (1.4%)	1 (0.2%)	5 (0.6%)
学生	8 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	7 (0.9%)
パート/アルバイト	110 (7.6%)	10 (4.7%)	22 (5.1%)	78 (9.6%)
就労継続支援A型・B型事業等の利用者	118 (8.1%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)	116 (14.3%)
無職	676 (46.6%)	5 (2.3%)	274 (64.0%)	397 (49.0%)
その他	59 (4.1%)	11 (5.2%)	13 (3.0%)	35 (4.3%)

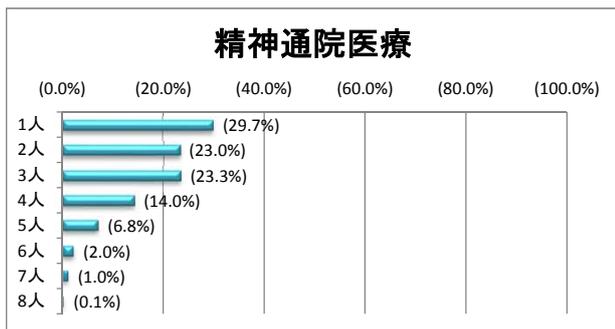
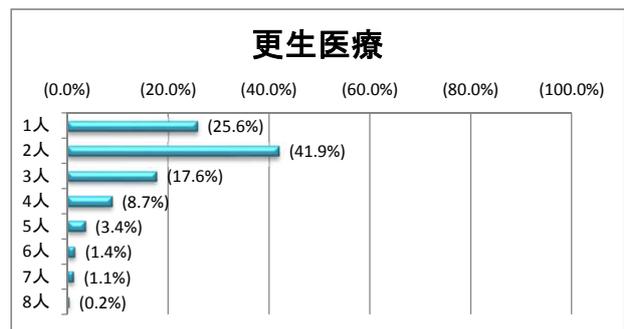
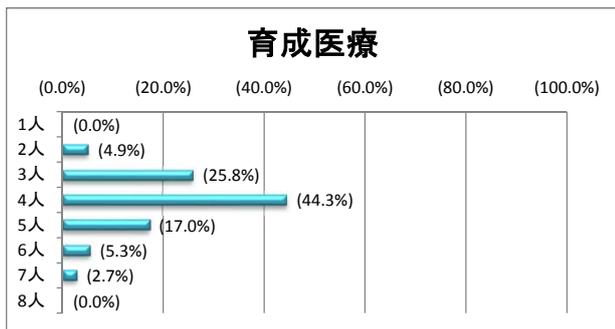


5. 世帯人数別の受給者数

○育成医療は、「3人世帯」、「4人世帯」がそれぞれ25.8%、44.3%と高く、更生医療は、「1人世帯」、「2人世帯」がそれぞれ25.6%、41.9%と高くなっている。
○精神通院医療は、「1人世帯」が29.7%と最も高い。

(単位: 人)

世帯人員	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,535	(100.0%)	264	(100.0%)	437	(100.0%)	834	(100.0%)
1人	360	(23.5%)	0	(0.0%)	112	(25.6%)	248	(29.7%)
2人	388	(25.3%)	13	(4.9%)	183	(41.9%)	192	(23.0%)
3人	339	(22.1%)	68	(25.8%)	77	(17.6%)	194	(23.3%)
4人	272	(17.7%)	117	(44.3%)	38	(8.7%)	117	(14.0%)
5人	117	(7.6%)	45	(17.0%)	15	(3.4%)	57	(6.8%)
6人	37	(2.4%)	14	(5.3%)	6	(1.4%)	17	(2.0%)
7人	20	(1.3%)	7	(2.7%)	5	(1.1%)	8	(1.0%)
8人	2	(0.1%)	0	(0.0%)	1	(0.2%)	1	(0.1%)
平均世帯人数	2.96		4.00		2.32		2.56	

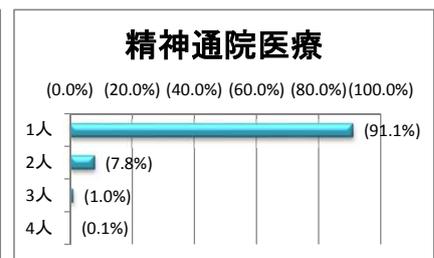
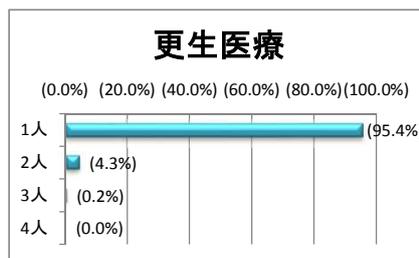
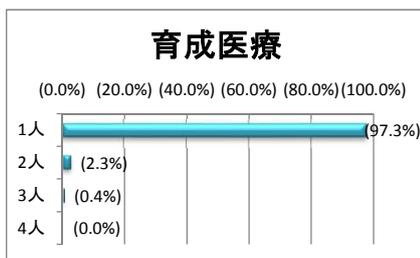


6. 受給者の世帯のうち、障害者(児)の人数

○2人以上の障害者(児)がいる世帯が、育成医療2.7%、更生医療4.5%、精神通院医療1.1%となっている。

(単位: 人)

障害者(児)数	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,533	(100.0%)	264	(100.0%)	438	(100.0%)	831	(100.0%)
1人	1,432	(93.4%)	257	(97.3%)	418	(95.4%)	757	(91.1%)
2人	90	(5.9%)	6	(2.3%)	19	(4.3%)	65	(7.8%)
3人	10	(0.7%)	1	(0.4%)	1	(0.2%)	8	(1.0%)
4人	1	(0.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.1%)

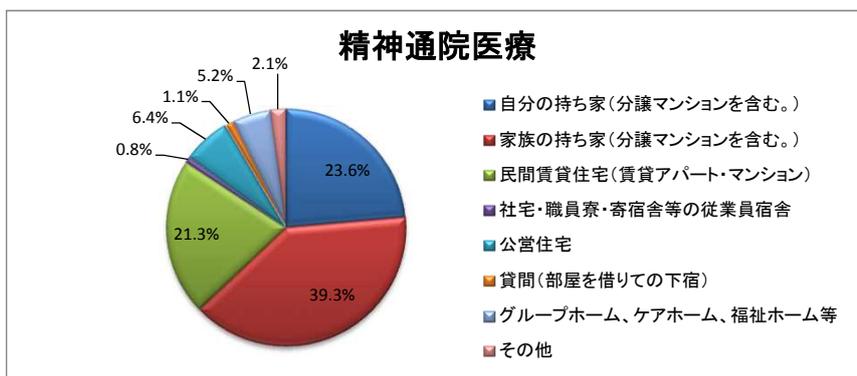
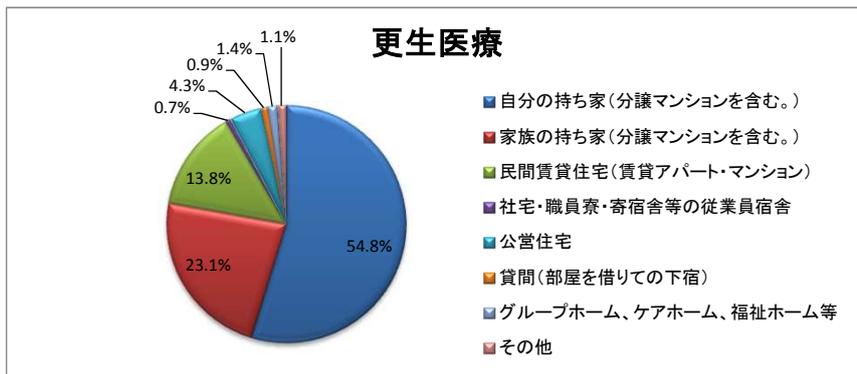
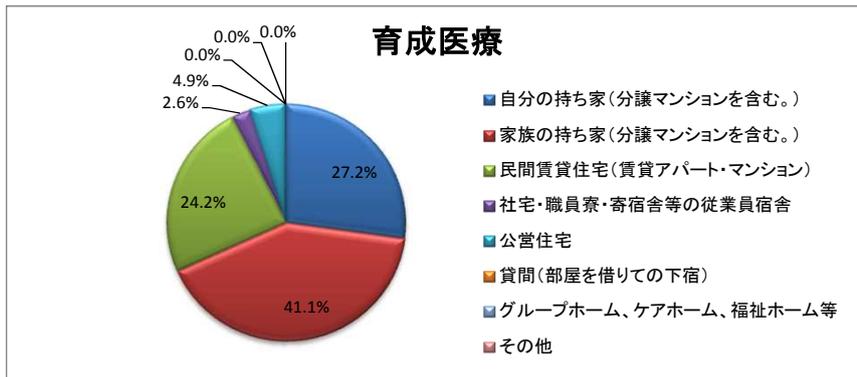


7. 住居の種類別の受給者数

○育成医療、更生医療、精神通院医療のいずれも、「自分又は家族の持ち家」の割合が高く、全体で68.1%となっている。

(単位:人)

住居	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,546 (100.0%)	265 (100.0%)	442 (100.0%)	839 (100.0%)
自分の持ち家(分譲マンションを含む。)	512 (33.1%)	72 (27.2%)	242 (54.8%)	198 (23.6%)
家族の持ち家(分譲マンションを含む。)	541 (35.0%)	109 (41.1%)	102 (23.1%)	330 (39.3%)
民間賃貸住宅(賃貸アパート・マンション)	304 (19.7%)	64 (24.2%)	61 (13.8%)	179 (21.3%)
社宅・職員寮・寄宿舎等の従業員宿舎	17 (1.1%)	7 (2.6%)	3 (0.7%)	7 (0.8%)
公営住宅	86 (5.6%)	13 (4.9%)	19 (4.3%)	54 (6.4%)
貸間(部屋を借りての下宿)	13 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)	9 (1.1%)
グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム等	50 (3.2%)	0 (0.0%)	6 (1.4%)	44 (5.2%)
その他	23 (1.5%)	0 (0.0%)	5 (1.1%)	18 (2.1%)

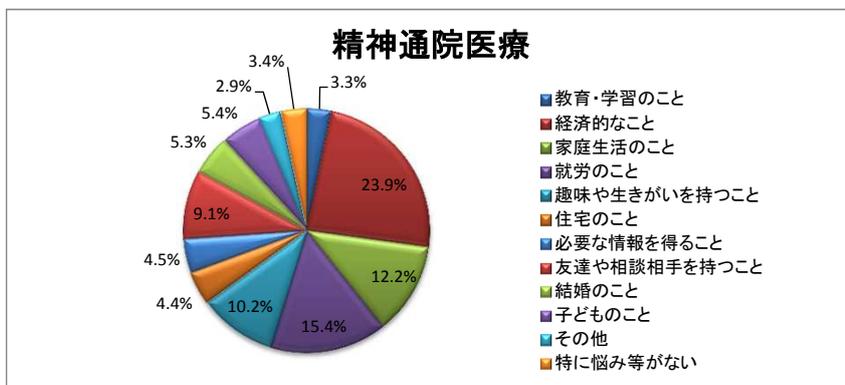
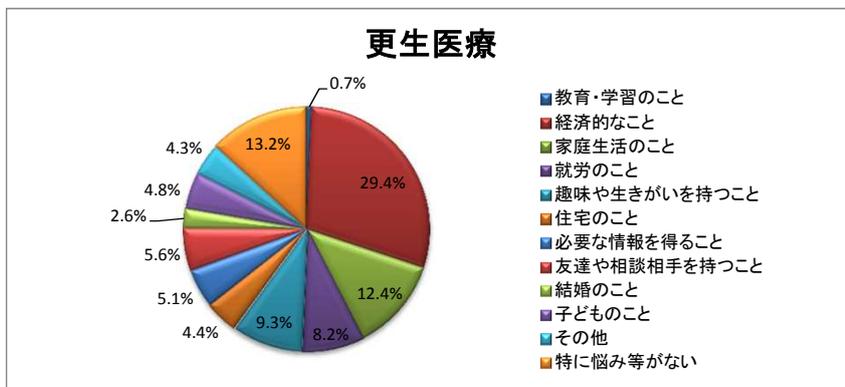
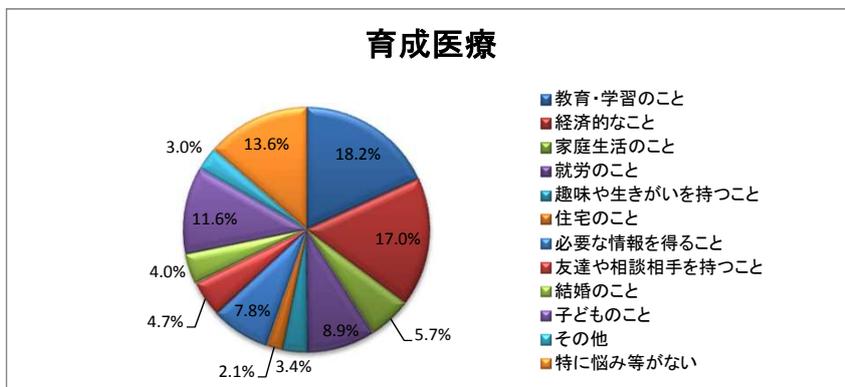


8. 生活上の悩み等別の受給者数(複数回答可)

○育成医療は、「教育・学習のこと」に不安を持っている受給者の割合が18.2%と最も高く、次いで「経済的なこと」17%となっている。
 ○更生医療、精神通院医療とも、「経済的なこと」に不安を持っている受給者の割合が、それぞれ29.4%、23.9%と最も高くなっている。

(単位:人)

生活上の悩み等	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	3,395 (100.0%)	528 (100.0%)	744 (100.0%)	2,123 (100.0%)
教育・学習のこと	171 (5.0%)	96 (18.2%)	5 (0.7%)	70 (3.3%)
経済的なこと	816 (24.0%)	90 (17.0%)	219 (29.4%)	507 (23.9%)
家庭生活のこと	381 (11.2%)	30 (5.7%)	92 (12.4%)	259 (12.2%)
就労のこと	435 (12.8%)	47 (8.9%)	61 (8.2%)	327 (15.4%)
趣味や生きがいを持つこと	303 (8.9%)	18 (3.4%)	69 (9.3%)	216 (10.2%)
住宅のこと	138 (4.1%)	11 (2.1%)	33 (4.4%)	94 (4.4%)
必要な情報を得ること	175 (5.2%)	41 (7.8%)	38 (5.1%)	96 (4.5%)
友達や相談相手を持つこと	260 (7.7%)	25 (4.7%)	42 (5.6%)	193 (9.1%)
結婚のこと	152 (4.5%)	21 (4.0%)	19 (2.6%)	112 (5.3%)
子どものこと	212 (6.2%)	61 (11.6%)	36 (4.8%)	115 (5.4%)
その他	110 (3.2%)	16 (3.0%)	32 (4.3%)	62 (2.9%)
特に悩み等がない	242 (7.1%)	72 (13.6%)	98 (13.2%)	72 (3.4%)



9. 世帯の収入別の受給者数について(重複回答有り)

(単位:人)

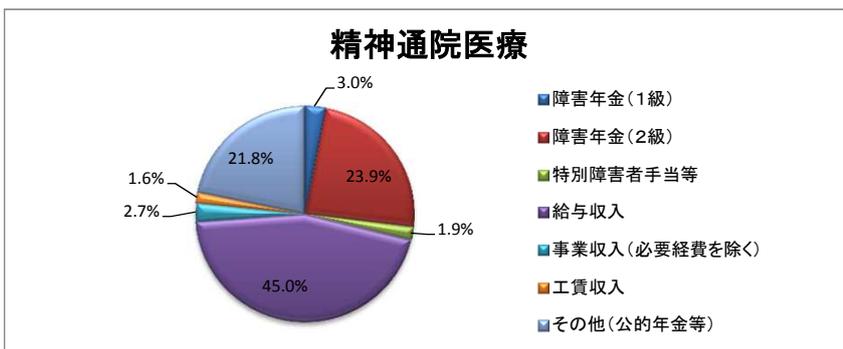
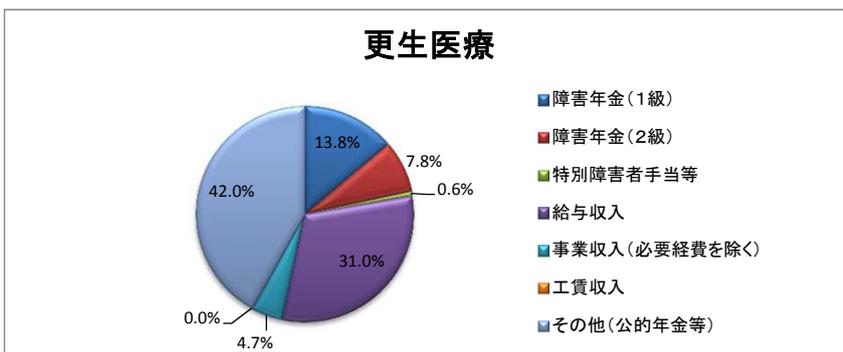
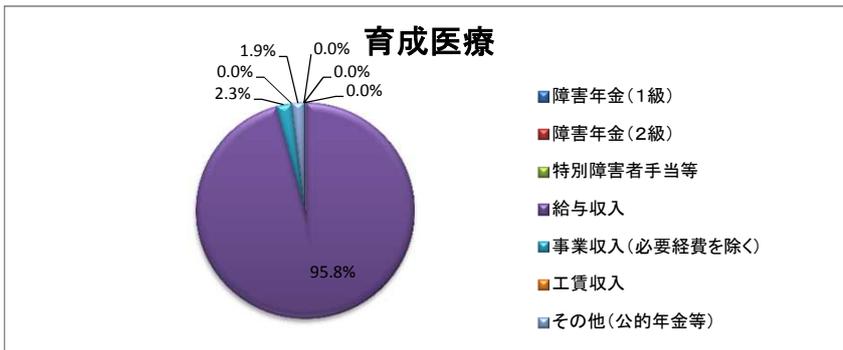
収入(H27)	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,535 (100.0%)	262 (100.0%)	411 (100.0%)	862 (100.0%)
障害年金(1級)	97 (6.3%)	0 (0.0%)	71 (17.3%)	26 (3.0%)
障害年金(2級)	265 (17.3%)	0 (0.0%)	41 (10.0%)	224 (26.0%)
特別障害者手当等	80 (5.2%)	34 (13.0%)	11 (2.7%)	35 (4.1%)
給与収入	621 (40.5%)	210 (80.2%)	107 (26.0%)	304 (35.3%)
事業収入(必要経費を除く)	58 (3.8%)	5 (1.9%)	27 (6.6%)	26 (3.0%)
工賃収入	71 (4.6%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	70 (8.1%)
その他(公的年金等)	343 (22.3%)	13 (5.0%)	153 (37.2%)	177 (20.5%)

10. 世帯の主たる収入別の受給者数について

- 育成医療は、障害児の保護者となるが、「給与収入」が95.8%を占めている。
- 更生医療は、高齢の受給者の割合が高いこともあり、「その他(公的年金等)」が42%となっている。
- 精神通院医療は、「給与収入」が45%と最も高いが、次いで「障害年金(2級)」が23.9%となっている。

(単位:人)

収入(H27)	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,159 (100.0%)	216 (100.0%)	319 (100.0%)	624 (100.0%)
障害年金(1級)	63 (5.4%)	0 (0.0%)	44 (13.8%)	19 (3.0%)
障害年金(2級)	174 (15.0%)	0 (0.0%)	25 (7.8%)	149 (23.9%)
特別障害者手当等	14 (1.2%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)	12 (1.9%)
給与収入	587 (50.6%)	207 (95.8%)	99 (31.0%)	281 (45.0%)
事業収入(必要経費を除く)	37 (3.2%)	5 (2.3%)	15 (4.7%)	17 (2.7%)
工賃収入	10 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (1.6%)
その他(公的年金等)	274 (23.6%)	4 (1.9%)	134 (42.0%)	136 (21.8%)



11. 世帯の年収(H27)階級別の受給者数

○育成医療は、「400～600万円未満」の世帯が39.8%と最も高い。

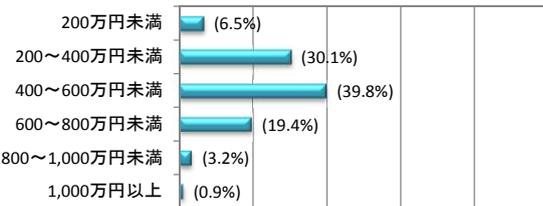
○更生医療、精神通院医療は、「200万円未満」の世帯がそれぞれ42.3%、52.6%と最も高く、年間収入が高くなるほど割合が低くなる傾向となっている。

(単位:人)

年間収入(H27)	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,159	(100.0%)	216	(100.0%)	319	(100.0%)	624	(100.0%)
200万円未満	477	(41.2%)	14	(6.5%)	135	(42.3%)	328	(52.6%)
200～400万円未満	348	(30.0%)	65	(30.1%)	117	(36.7%)	166	(26.6%)
400～600万円未満	218	(18.8%)	86	(39.8%)	44	(13.8%)	88	(14.1%)
600～800万円未満	83	(7.2%)	42	(19.4%)	15	(4.7%)	26	(4.2%)
800～1,000万円未満	24	(2.1%)	7	(3.2%)	5	(1.6%)	12	(1.9%)
1,000万円以上	9	(0.8%)	2	(0.9%)	3	(0.9%)	4	(0.6%)

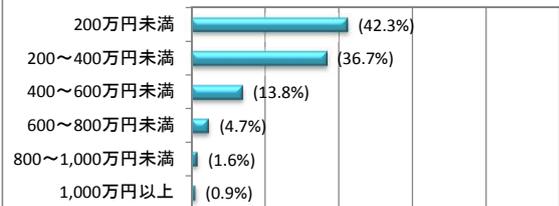
育成医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



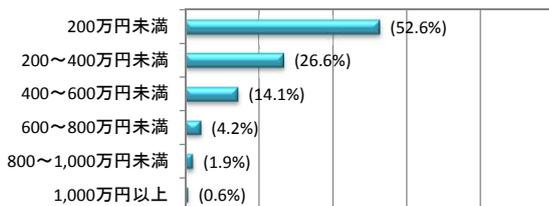
更生医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



精神通院医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



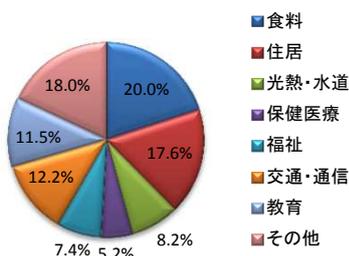
12. 世帯の直近1ヶ月当たりのおおよその支出額(平均)

○それぞれの項目について、医療の種類毎に大きな差は見られない。育成医療、更生医療、精神通院医療のいずれも、「食料」、「住居」を併せた割合が4割弱となっている。

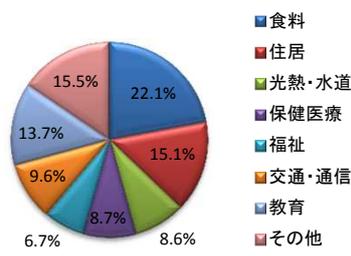
(単位:円)

支出(月額)	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総額	262,229	(100.0%)	283,634	(100.0%)	256,475	(100.0%)	246,578	(100.0%)
食料	55,059	(21.0%)	56,732	(20.0%)	56,601	(22.1%)	51,846	(21.0%)
住居	41,146	(15.7%)	49,900	(17.6%)	38,674	(15.1%)	34,864	(14.1%)
光熱・水道	21,968	(8.4%)	23,141	(8.2%)	22,032	(8.6%)	20,731	(8.4%)
保健医療	18,069	(6.9%)	14,745	(5.2%)	22,244	(8.7%)	17,216	(7.0%)
福祉	22,088	(8.4%)	20,870	(7.4%)	17,307	(6.7%)	28,088	(11.4%)
交通・通信	27,118	(10.3%)	34,513	(12.2%)	24,661	(9.6%)	22,180	(9.0%)
教育	34,434	(13.1%)	32,609	(11.5%)	35,165	(13.7%)	35,529	(14.4%)
その他	42,346	(16.1%)	51,125	(18.0%)	39,791	(15.5%)	36,123	(14.6%)

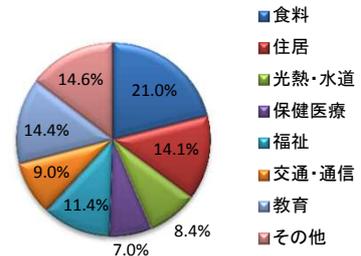
育成医療



更生医療



精神通院医療

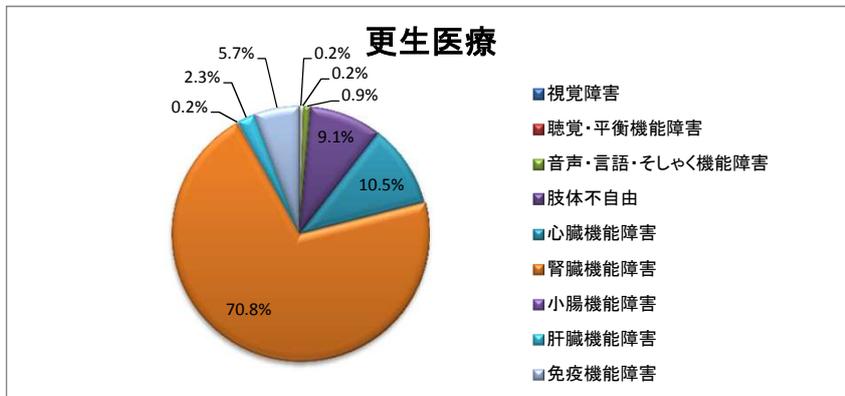
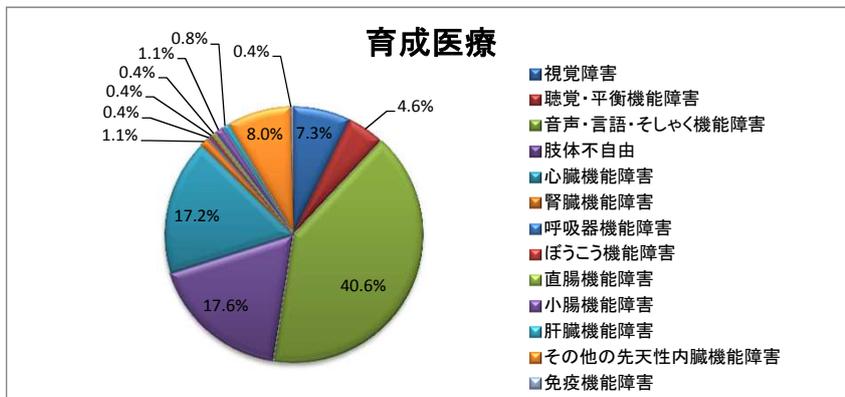


13. 障害の種類別の受給者数

○育成医療は、「音声・言語・そしゃく機能障害」が40.6%と最も高く、次いで「肢体不自由」17.6%、「心臓機能障害」17.2%の順となっている。
 ○更生医療は、腎臓機能障害が70.8%を占めている。

(単位:人)

障害の種類	総数	育成医療	更生医療
総数	699 (100.0%)	261 (100.0%)	438 (100.0%)
視覚障害	20 (2.9%)	19 (7.3%)	1 (0.2%)
聴覚・平衡機能障害	13 (1.9%)	12 (4.6%)	1 (0.2%)
音声・言語・そしゃく機能障害	110 (15.7%)	106 (40.6%)	4 (0.9%)
肢体不自由	86 (12.3%)	46 (17.6%)	40 (9.1%)
心臓機能障害	91 (13.0%)	45 (17.2%)	46 (10.5%)
腎臓機能障害	313 (44.8%)	3 (1.1%)	310 (70.8%)
呼吸器機能障害	1 (0.1%)	1 (0.4%)	—
ぼうこう機能障害	1 (0.1%)	1 (0.4%)	—
直腸機能障害	1 (0.1%)	1 (0.4%)	—
小腸機能障害	4 (0.6%)	3 (1.1%)	1 (0.2%)
肝臓機能障害	12 (1.7%)	2 (0.8%)	10 (2.3%)
その他の先天性内臓機能障害	21 (3.0%)	21 (8.0%)	—
免疫機能障害	26 (3.7%)	1 (0.4%)	25 (5.7%)



14. 有効期間別の受給者数

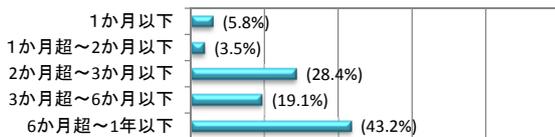
- 育成医療は、有効期間が「6か月超～1年以下」の受給者が43.2%で最も割合が高く、次いで「2か月超～3か月以下」が28.4%となっている。
- 更生医療は、「6か月超～1年以下」の受給者が81.9%となっており、透析医療の受給者の割合が高いためと推測される。
- 精神通院医療は、「6か月超～1年以下」の受給者が86.6%となっており、受給者の9割近くが長期の有効期間を設定されている。

(単位:人)

有効期間	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,444 (100.0%)	257 (100.0%)	397 (100.0%)	790 (100.0%)
1か月以下	48 (3.3%)	15 (5.8%)	13 (3.3%)	20 (2.5%)
1か月超～2か月以下	61 (4.2%)	9 (3.5%)	17 (4.3%)	35 (4.4%)
2か月超～3か月以下	114 (7.9%)	73 (28.4%)	22 (5.5%)	19 (2.4%)
3か月超～6か月以下	101 (7.0%)	49 (19.1%)	20 (5.0%)	32 (4.1%)
6か月超～1年以下	1,120 (77.6%)	111 (43.2%)	325 (81.9%)	684 (86.6%)

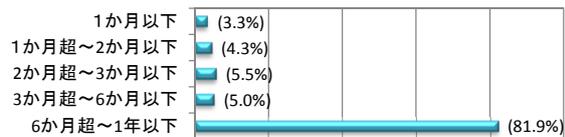
育成医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



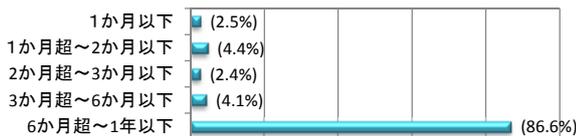
更生医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



精神通院医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



15. 自己負担上限月額別の受給者数

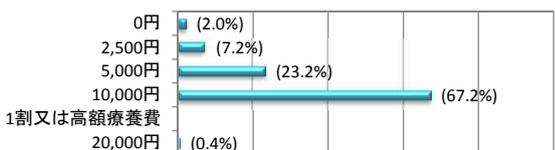
- 育成医療は、負担上限月額「10,000円」が67.2%であり、中間所得2の割合が最も高くなっている。
- 更生医療は、負担上限月額「5,000円」が40.6%であり、「重度かつ継続」に該当する「中間所得1」又は「低所得2」の割合が最も高くなっている。
- 精神通院医療は、負担上限月額「2,500円」、「5,000円」、「10,000円」が同程度の割合で高く、「0円」の区分が13.7%と育成医療、更生医療と比較して高い。

(単位:人)

負担上限月額	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,438 (100.0%)	250 (100.0%)	392 (100.0%)	796 (100.0%)
0円	152 (10.6%)	5 (2.0%)	38 (9.7%)	109 (13.7%)
2,500円	306 (21.3%)	18 (7.2%)	69 (17.6%)	219 (27.5%)
5,000円	450 (31.3%)	58 (23.2%)	159 (40.6%)	233 (29.3%)
10,000円	462 (32.1%)	168 (67.2%)	100 (25.5%)	194 (24.4%)
1割又は高額療養費	11 (0.8%)	—	8 (2.0%)	3 (0.4%)
20,000円	57 (4.0%)	1 (0.4%)	18 (4.6%)	38 (4.8%)

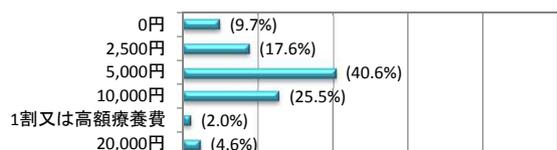
育成医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



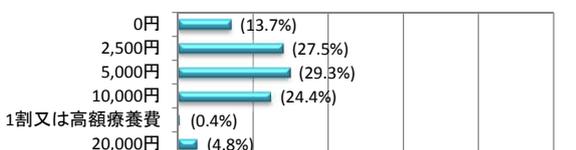
更生医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



精神通院医療

(0.0%) (20.0%) (40.0%) (60.0%) (80.0%) (100.0%)



16. 自己負担上限月額別／障害の種類別の受給者数

【育成医療】

(単位:人)

障害の種類	0円		2,500円		5,000円		10,000円		1割又は高額療養費	20,000円	
総数	5	(100.0%)	18	(100.0%)	58	(100.0%)	168	(100.0%)	—	1	(100.0%)
視覚障害	0	(0.0%)	1	(5.6%)	6	(10.3%)	12	(7.1%)	—	0	(0.0%)
聴覚・平衡機能障害	0	(0.0%)	2	(11.1%)	3	(5.2%)	6	(3.6%)	—	0	(0.0%)
音声・言語・そしやく機能障害	2	(40.0%)	8	(44.4%)	22	(37.9%)	69	(41.1%)	—	0	(0.0%)
肢体不自由	1	(20.0%)	2	(11.1%)	9	(15.5%)	33	(19.6%)	—	0	(0.0%)
心臓機能障害	2	(40.0%)	4	(22.2%)	11	(19.0%)	27	(16.1%)	—	0	(0.0%)
腎臓機能障害	0	(0.0%)	1	(5.6%)	2	(3.4%)	0	(0.0%)	—	0	(0.0%)
呼吸器機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	—	0	(0.0%)
ぼうこう機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	—	0	(0.0%)
直腸機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	—	0	(0.0%)
小腸機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.7%)	2	(1.2%)	—	0	(0.0%)
肝臓機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.7%)	1	(0.6%)	—	0	(0.0%)
その他の先天性内臓機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(5.2%)	15	(8.9%)	—	1	(100.0%)
免疫機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	—	0	(0.0%)

【更生医療】

(単位:人)

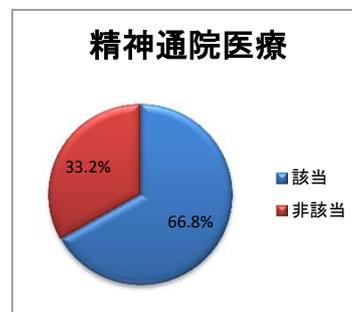
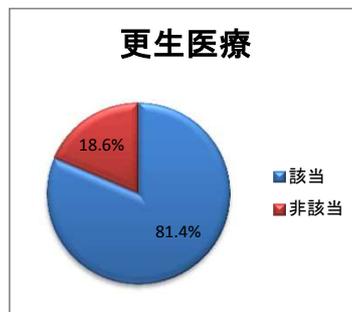
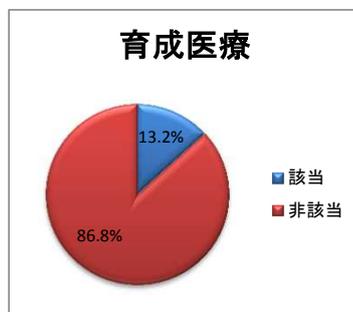
障害の種類	0円		2,500円		5,000円		10,000円		1割又は高額療養費	20,000円		
総数	38	(100.0%)	69	(100.0%)	159	(100.0%)	100	(100.0%)	8	(100.0%)	18	(100.0%)
視覚障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
聴覚・平衡機能障害	1	(2.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
音声・言語・そしやく機能障害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)
肢体不自由	3	(7.9%)	8	(11.6%)	13	(8.2%)	1	(1.0%)	4	(50.0%)	1	(5.6%)
心臓機能障害	1	(2.6%)	8	(11.6%)	15	(9.4%)	3	(3.0%)	3	(37.5%)	4	(22.2%)
腎臓機能障害	30	(78.9%)	49	(71.0%)	121	(76.1%)	77	(77.0%)	0	(0.0%)	12	(66.7%)
呼吸器機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ぼうこう機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
直腸機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小腸機能障害	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
肝臓機能障害	0	(0.0%)	2	(2.9%)	3	(1.9%)	4	(4.0%)	0	(0.0%)	1	(5.6%)
その他の先天性内臓機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
免疫機能障害	3	(7.9%)	1	(1.4%)	6	(3.8%)	14	(14.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

17. 重度かつ継続の該当・非該当

○「重度かつ継続」に該当する受給者が、育成医療は13.2%であるのに対し、更生医療は81.4%、精神通院医療は66.8%となっている。

(単位:人)

重度かつ継続	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,128	(100.0%)	235	(100.0%)	312	(100.0%)	581	(100.0%)
該当	673	(59.7%)	31	(13.2%)	254	(81.4%)	388	(66.8%)
非該当	455	(40.3%)	204	(86.8%)	58	(18.6%)	193	(33.2%)

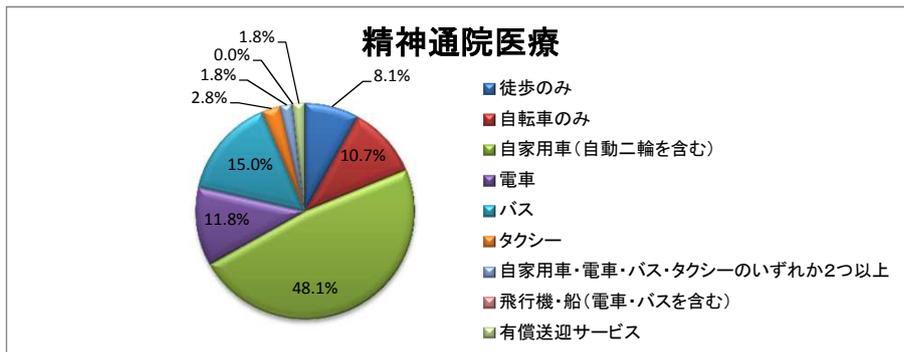
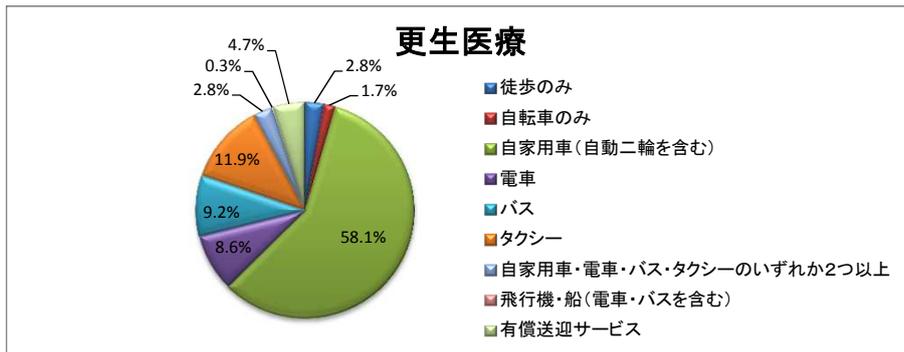
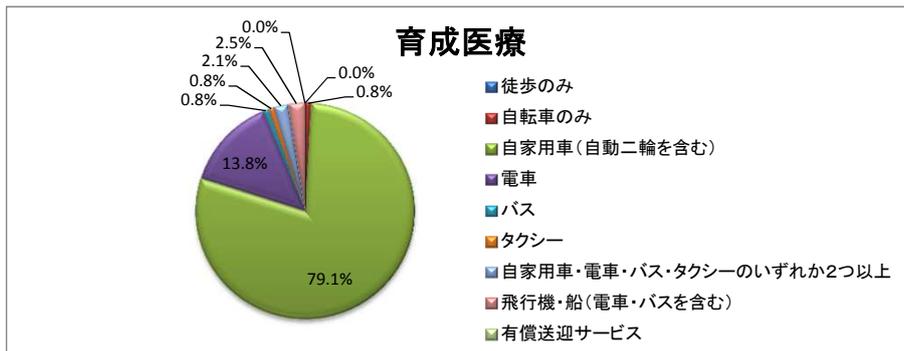


18. 医療機関への交通手段別の受給者数

○育成医療、更生医療、精神通院医療のいずれも、「自家用車(自動二輪を含む)」の割合が最も高くなっている。

(単位:人)

交通手段	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,289 (100.0%)	239 (100.0%)	360 (100.0%)	720 (100.0%)
徒歩のみ	68 (5.3%)	0 (0.0%)	10 (2.8%)	58 (8.1%)
自転車のみ	85 (6.6%)	2 (0.8%)	6 (1.7%)	77 (10.7%)
自家用車(自動二輪を含む)	744 (57.7%)	189 (79.1%)	209 (58.1%)	346 (48.1%)
電車	149 (11.6%)	33 (13.8%)	31 (8.6%)	85 (11.8%)
バス	143 (11.1%)	2 (0.8%)	33 (9.2%)	108 (15.0%)
タクシー	65 (5.0%)	2 (0.8%)	43 (11.9%)	20 (2.8%)
自家用車・電車・バス・タクシーのいずれか2つ以上	28 (2.2%)	5 (2.1%)	10 (2.8%)	13 (1.8%)
飛行機・船(電車・バスを含む)	7 (0.5%)	6 (2.5%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)
有償送迎サービス	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (4.7%)	13 (1.8%)



19. 医療機関への交通手段別の往復交通費(付添人を含む1回当たりの平均)

○育成医療、更生医療は遠方の医療機関となるケースもあるため、精神通院医療と比較して交通費が高くなっていることが推測される。

(単位:円)

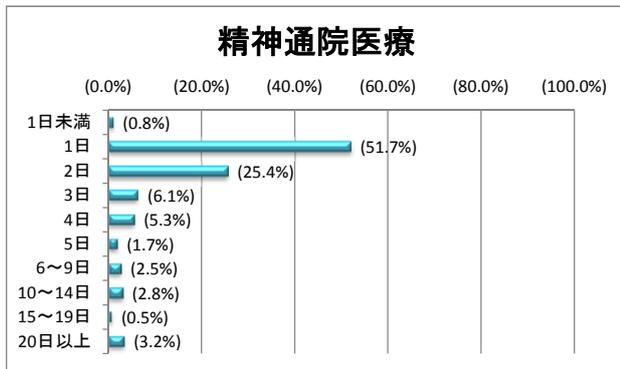
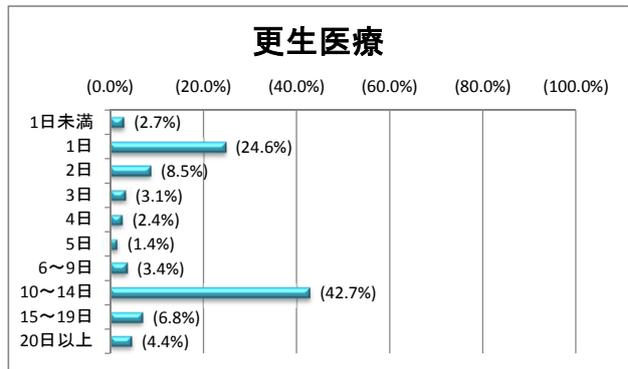
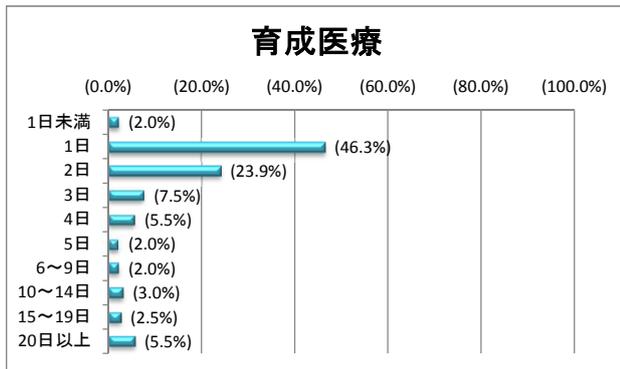
交通手段	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
電車	4,630	8,021	4,502	1,367
バス	2,087	2,990	2,609	663
タクシー	2,814	1,200	3,950	3,291
自家用車・電車・バス・タクシーのいずれか2つ以上	3,493	4,745	3,887	1,848
飛行機・船(電車・バスを含む)	32,212	34,423	30,000	—
有償送迎サービス	4,986	—	2,971	7,000

20. 1か月当たりの受診日数別の受給者数

○育成医療、精神通院医療は、1か月当たりの受診日数が1日の受診者が最も割合が高く、それぞれ46.3%、51.7%となっている。
 ○更生医療は、10～14日の受診者の割合が最も高く、42.7%となっており、透析医療を受けている受診者が多いためと推測される。

(単位:人)

受診日数	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	1,097 (100.0%)	201 (100.0%)	293 (100.0%)	603 (100.0%)
1日未満	17 (1.5%)	4 (2.0%)	8 (2.7%)	5 (0.8%)
1日	477 (43.5%)	93 (46.3%)	72 (24.6%)	312 (51.7%)
2日	226 (20.6%)	48 (23.9%)	25 (8.5%)	153 (25.4%)
3日	61 (5.6%)	15 (7.5%)	9 (3.1%)	37 (6.1%)
4日	50 (4.6%)	11 (5.5%)	7 (2.4%)	32 (5.3%)
5日	18 (1.6%)	4 (2.0%)	4 (1.4%)	10 (1.7%)
6～9日	29 (2.6%)	4 (2.0%)	10 (3.4%)	15 (2.5%)
10～14日	148 (13.5%)	6 (3.0%)	125 (42.7%)	17 (2.8%)
15～19日	28 (2.6%)	5 (2.5%)	20 (6.8%)	3 (0.5%)
20日以上	43 (3.9%)	11 (5.5%)	13 (4.4%)	19 (3.2%)

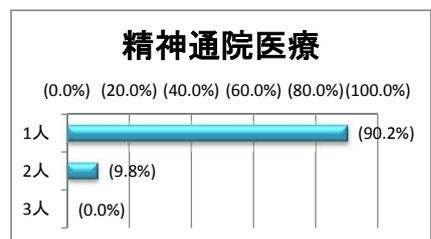
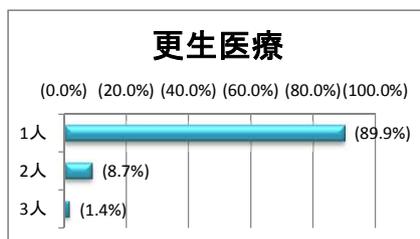
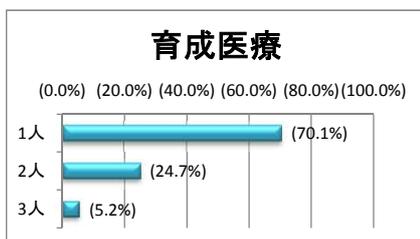


21. 受診の際の付添人数別の受給者数

○受診の際の付添人が必要な受給者について、育成医療、更生医療、精神通院医療ともに、付添人1人が最も割合が高いが、育成医療では、付添人2人の割合も24.7%と比較的高くなっている。

(単位:人)

付添人数	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	278 (100.0%)	97 (100.0%)	69 (100.0%)	112 (100.0%)
1人	231 (83.1%)	68 (70.1%)	62 (89.9%)	101 (90.2%)
2人	41 (14.7%)	24 (24.7%)	6 (8.7%)	11 (9.8%)
3人	6 (2.2%)	5 (5.2%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)



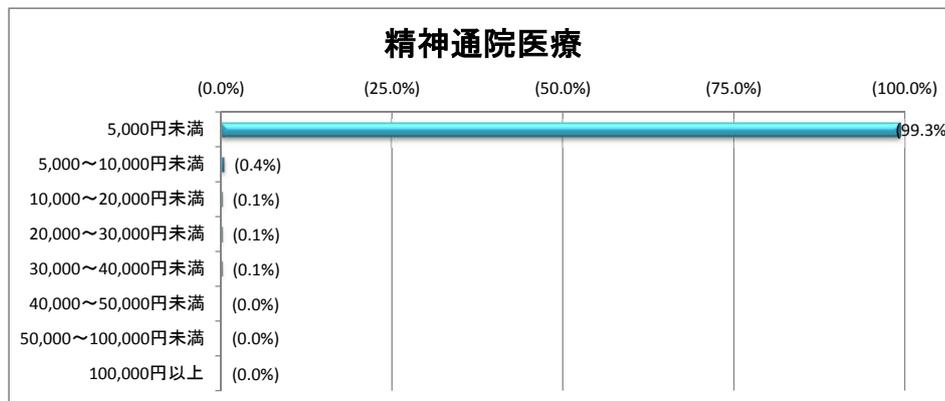
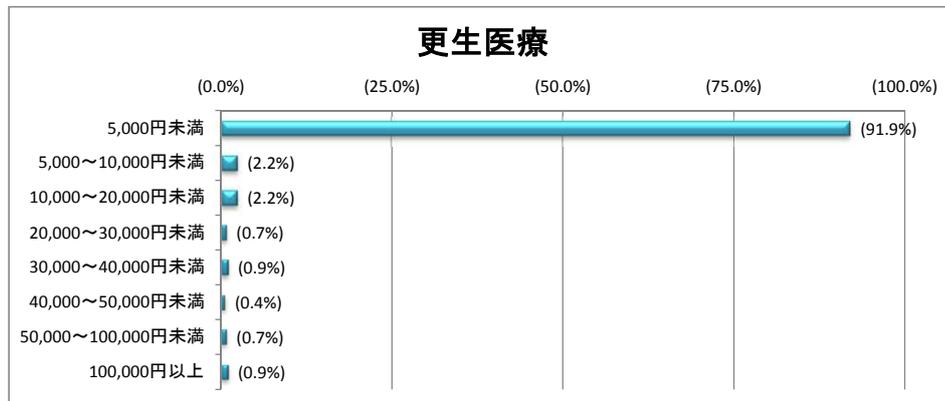
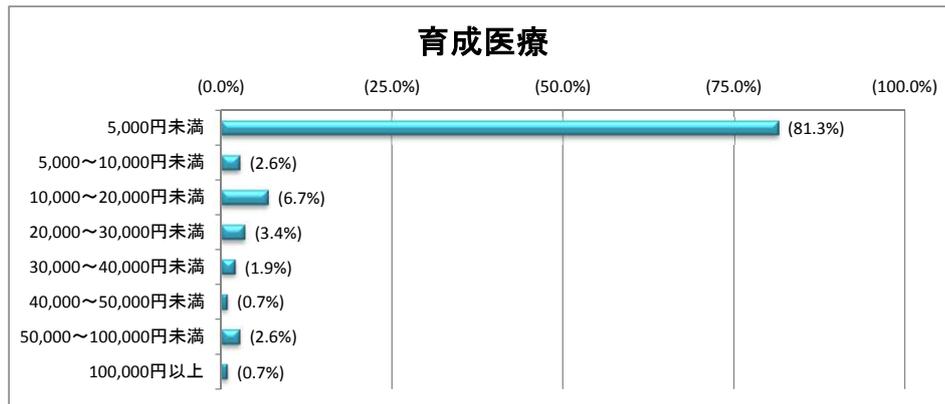
22. 受診の際の費用(医療費と交通費以外)階級別の受給者数(1か月当たり)

○受診時の医療費と交通費以外の費用(1か月当たり)については、育成医療、更生医療、精神通院医療のいずれも、「5,000円未満」が最も高い割合となっているが、育成医療、更生医療では、「50,000円以上」の高額な費用が掛かっている受給者も一定割合いることが見受けられる。

<特別療養環境室・付添費用・リネン代、雑費等>

(単位:人)

費用	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,557	(100.0%)	268	(100.0%)	445	(100.0%)	844	(100.0%)
5,000円未満	1,465	(94.1%)	218	(81.3%)	409	(91.9%)	838	(99.3%)
5,000～10,000円未満	20	(1.3%)	7	(2.6%)	10	(2.2%)	3	(0.4%)
10,000～20,000円未満	29	(1.9%)	18	(6.7%)	10	(2.2%)	1	(0.1%)
20,000～30,000円未満	13	(0.8%)	9	(3.4%)	3	(0.7%)	1	(0.1%)
30,000～40,000円未満	10	(0.6%)	5	(1.9%)	4	(0.9%)	1	(0.1%)
40,000～50,000円未満	4	(0.3%)	2	(0.7%)	2	(0.4%)	0	(0.0%)
50,000～100,000円未満	10	(0.6%)	7	(2.6%)	3	(0.7%)	0	(0.0%)
100,000円以上	6	(0.4%)	2	(0.7%)	4	(0.9%)	0	(0.0%)

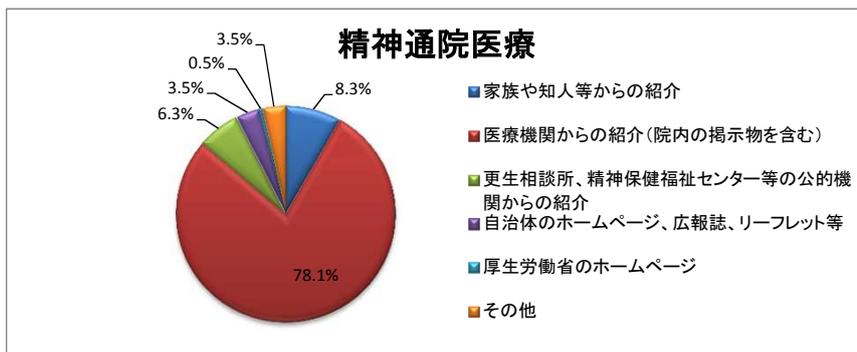
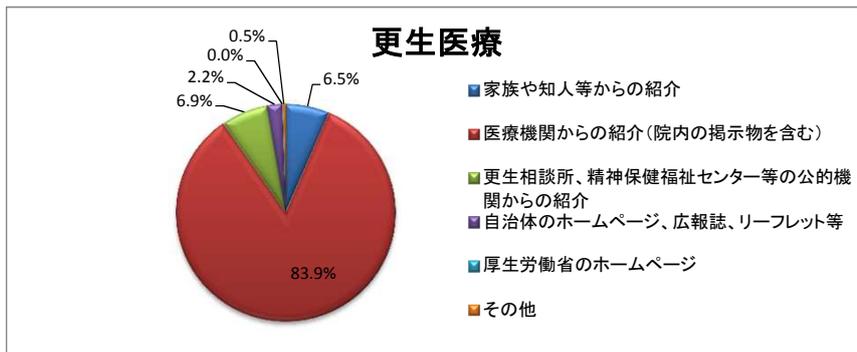
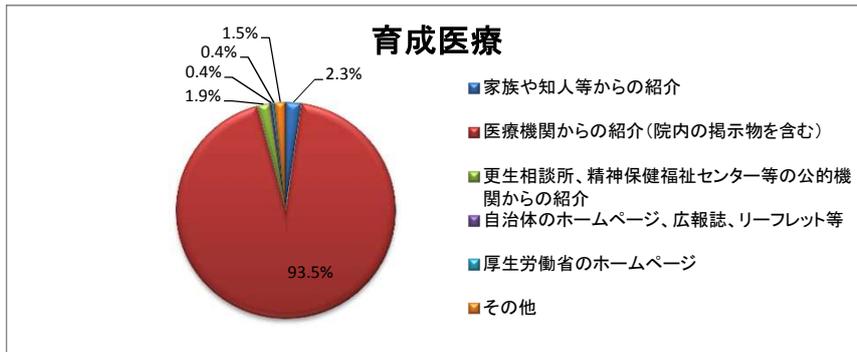


23. 自立支援医療制度をどこで知ったか

○育成医療、更生医療、精神通院医療のいずれも、「医療機関からの紹介(院内の掲示物を含む)」が最も高い割合となっている。

(単位:人)

制度をどこで知ったか	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,474	(100.0%)	260	(100.0%)	403	(100.0%)	811	(100.0%)
家族や知人等からの紹介	99	(6.7%)	6	(2.3%)	26	(6.5%)	67	(8.3%)
医療機関からの紹介(院内の掲示物を含む)	1214	(82.4%)	243	(93.5%)	338	(83.9%)	633	(78.1%)
更生相談所、精神保健福祉センター等の公的機関からの紹介	84	(5.7%)	5	(1.9%)	28	(6.9%)	51	(6.3%)
自治体のホームページ、広報誌、リーフレット等	38	(2.6%)	1	(0.4%)	9	(2.2%)	28	(3.5%)
厚生労働省のホームページ	5	(0.3%)	1	(0.4%)	0	(0.0%)	4	(0.5%)
その他	34	(2.3%)	4	(1.5%)	2	(0.5%)	28	(3.5%)



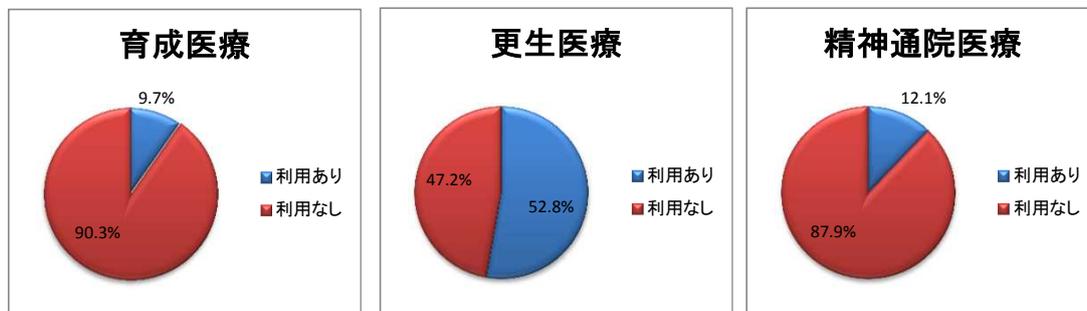
24. 地方単独の医療費助成制度の利用者数

○更生医療では、52.8%が自治体独自の医療費助成制度の「利用あり」と回答している。

○対象範囲の違いなども考えられるが、育成医療、精神通院医療は「利用あり」の回答が、それぞれ9.7%、12.1%と低くなっている。

(単位:人)

地方単独の制度	総数		育成医療		更生医療		精神通院医療	
総数	1,429	(100.0%)	258	(100.0%)	396	(100.0%)	775	(100.0%)
利用あり	328	(23.0%)	25	(9.7%)	209	(52.8%)	94	(12.1%)
利用なし	1,101	(77.0%)	233	(90.3%)	187	(47.2%)	681	(87.9%)



25. 自立支援医療制度へのご意見等

○自立支援医療制度全体で、この制度があったおかげで受診ができた等の「制度への感謝の意」の割合が43.3%と最も高く、次いで「制度の継続」を希望する意見が11.4%となっている。

○一方で、「自己負担の軽減」についての意見が4.3%、制度の案内をもっと分かりやすくしてほしい等の「制度の案内方法」についての意見が5.1%となっている。

○また、「手続きの簡素化」についての意見が5.7%、「有効期間の延長」についての意見が4.6%、「交通費への助成」についての意見が4.3%となっている。

(単位:人)

ご意見等	総数	育成医療	更生医療	精神通院医療
総数	351 (100.0%)	85 (100.0%)	64 (100.0%)	202 (100.0%)
制度への感謝の意	152 (43.3%)	37 (43.5%)	32 (50.0%)	83 (41.1%)
制度の継続	40 (11.4%)	4 (4.7%)	8 (12.5%)	28 (13.9%)
制度の案内方法	18 (5.1%)	6 (7.1%)	1 (1.6%)	11 (5.4%)
更新手続きの案内	2 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	1 (0.5%)
手続きの簡素化	20 (5.7%)	6 (7.1%)	3 (4.7%)	11 (5.4%)
受給者証の早期交付	5 (1.4%)	3 (3.5%)	1 (1.6%)	1 (0.5%)
受給者証のサイズ	3 (0.9%)	2 (2.4%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)
対象医療の範囲拡大	8 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (4.0%)
自己負担の現状維持	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
自己負担の軽減	15 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	14 (6.9%)
有効期間の延長	16 (4.6%)	5 (5.9%)	1 (1.6%)	10 (5.0%)
交通費への助成	15 (4.3%)	7 (8.2%)	3 (4.7%)	5 (2.5%)
診断書料への助成	4 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.0%)
医療機関を複数可能とすること	4 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.0%)
18歳以降までの育成医療の適用	3 (0.9%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	45 (12.8%)	12 (14.1%)	12 (18.8%)	21 (10.4%)

